

銅賞

銅賞作品【3点】

「命の鍵」で安心作業 北川 栄三



愛知県/トヨタ自動車(株)貞宝工場

作者より:

- ①写真の設備は大型設備なので複数の作業者が設備内のいたるところで作業をしています。こうした設備では他人の誤操作による災害を未然に防ぐためのツールが必要となります。
- ②誤作動を防止する為に、設備に入り込む一人ひとりが二つと無い、「命の鍵」を携帯し、確実な錠掛けを実行して、自身の安全を確保しています。これを「ロックアウト」と言います。
- ③各職場では各自の錠前と所有者札を管理ボードにて管理の徹底をし「ロックアウト」で安全作業を遂行しています。

審査委員総評

機械設備が並ぶ工場の中で、顔写真入りの「命の鍵」を携帯し安全の確保を確実にしている様子が3枚の組み写真で表現されている。3枚の写真それぞれが、広い工場内、鍵のアップ、鍵の保管場所ときちんと置かれており、分かりやすい作品である。写真全体から、企業の安全に対する姿勢が感じられる作品であるが、1枚の単写真で凝縮された形で表現するとさらにインパクトのある写真となった感がある。

0災害を誓う 寺島 義雄



千葉県/日鉄板板(株)船橋製造所

作者より: 管理監督者で安全を誓う

審査委員総評

タイトルのとおり正に管理監督者全員で「0災害」を誓っている写真である。安全衛生旗がはためいている中で、安全表示塔の前に、ヘルメットをかぶり、「安全確認」の文字入りのチョッキを着て、全員で指差唱和しており、これぞ安全活動の基本という作品である。構図的にも工場をバックに、指差唱和する人と空とのバランスも良く、のびやかな作品である。

作業前のミーティング



大分県/大分県エナジー株式会社 杉瀬豊

作者より:

私は液化天然ガスを取扱う基地のメンテナンス部門に勤務しています。協力会社の人達とともに、安全作業を行い、無事故無災害をめざしています。この写真は毎日行う、作業前の危険予知ミーティングの様子を撮影しました。

審査委員総評

工場と協力会社の社員が一緒になって毎日行う作業前の危険予知ミーティング風景を撮った作品である。中腰で撮影しており、アングルのよから2階の垂れ幕や手すりから、画面手前の指差呼称する社員達のそれぞれの表情までくっきりと立体的に写っている。撮影者の技量が十分に何われる作品である。また、協力会社と一体となって「無事故無災害」を目指している雰囲気も十二分に表現されている作品である。

特別賞

審査員特別賞作品【1点】

体感・・・一命取る(1m) 武内 伸樹



和歌山県/(株)湊組

作者より:

新入社員教育の一環で安全帯着用の重要性を体感してもらう為、約1メートルの高さでぶら下がり、装着の正確性や自分の体重でどれくらいの力が掛かるかを知ってもらいます。それを心配そうに見つめる新入社員達をとらえました。

審査委員総評

新入社員教育で安全帯着用の重要性を体感させる訓練風景の写真である。思わず画面手前で宙吊りになっている二人に目が行ってしまいうるモーションな作品である。広角レンズの特性を活かし、宙吊りになっている人とそれを取り囲む新入社員表情が広い構図の中にアップで、かつ、しっかりととらえられており、目を引く作品である。